

◎第5回理事会(42.10.27)出席者: 富樫会長, 仁杉副会長, 羽田専務理事, 伊藤, 飯古, 石井, 岩崎, 川崎, 堺, 篠原, 高橋, 広瀬, 横道の各理事。議事録署名理事の決定: 富樫会長, 羽田専務理事, 堺理事。A. 報告事項: つぎの各項につき羽田専務理事より報告がありました; 1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。2) 各種委員会その他報告。B. 協議事項: 1) 職員就業規則一部改正について。2) 電子計算機のプログラム登録について。3) 委員の委嘱について

① 学術講演連絡委員会

- 委員 飯田 隆一 建設省土木研究所赤羽支所  
堤 一 電力中央研究所技術研究所  
森 麟 早稲田大学  
北郷 繁 北海道大学  
佐武 正雄 東北大学  
毛利 正光 名古屋大学  
粟谷 陽一 九州大学

② 文献調査委員会

- 委員 荒井 庸 石川播磨重工業KK

③ 橋梁構造委員会

- 委員長 平井 敏 東京大学  
委員 伊藤 学 東京大学  
猪股 俊司 橋梁構造研究所  
奥村 敏恵 東京大学  
菊池 洋一 名古屋大学  
小西 一郎 京都大学  
国分 正胤 東京大学  
笹戸 松二 日本道路公団  
篠原 洋司 建設省  
田島 二郎 国 鉄  
田中 五郎 横河工事KK  
多田 安夫 建設省  
友永 和夫 KK横河橋梁製作所  
堀井健一郎 早稲田大学  
村上 永一 日本道路公団

④ トンネル工学委員会 シールド工法小委員会

- 委員 岩永三樹男 日本電信電話公社設備局

⑤ 新高張力鋼を用いた鋼鉄道橋設計および製作方書に関する研究委員会

- 委員長 沼田 政矩 国土館大学  
委員 福田 武雄 東京大学名誉教授  
友永 和夫 KK横河橋梁製作所  
小西 一郎 京都大学  
平井 敏 東京大学  
秋田 好雄 石川島播磨重工業KK  
大宮 克巳 川崎重工業KK  
安渡 金蔵 三菱重工業KK  
河野 通之 日本交通技術KK  
奥村 敏恵 東京大学  
西村 俊夫 東京工業大学  
菊池 洋一 名古屋大学  
多田 安夫 建設省  
笹戸 松二 日本道路公団  
石川 豊 国 鉄  
西亀 達夫 国 鉄  
安藤 精一 国 鉄  
三浦 誠夫 国 鉄

- 幹事 伊藤 学 東京大学  
西野 文雄 東京大学  
中村 正平 首都高速公団  
村本徹五郎 国鉄鉄道技研  
大田省三郎 同  
伊藤 文人 同  
田島 二郎 国 鉄  
阿部 英彦 同  
尾坂 芳夫 同  
松浦 章夫 国鉄鉄道技研  
稲葉 紀昭 国 鉄

◎各種委員会

(1) 異形鉄筋設計例改訂小委員会(42.9.18)出席者: 国分委員長, ほか16名。議事: 1) 鉄筋コンクリート倒立T形擁壁設計例について。2) 道路橋鉄筋コンクリートラーメン橋脚について。

(2) PC工法小委員会(42.9.18)出席者: 国分委員長, 河野主査, ほか21名。議事: 1) 第5回委員会議事録の確認。2) パウル・レオンハルト工法設計施工指針(案)逐条審議。

(3) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(42.9.18)出席者: 関係者5名。議事: 省略。

(4) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会設計に関する分科会(42.9.19)出席者: 伊東主査, ほか9名。議事: 1) 道路舗装と空港舗装の比較について。2) 空港における無筋コンクリート舗装設計法の比較研究(目次案)について。

(5) トンネル工学委員会運営小委員会(42.9.19)出席者: 加納委員長, 坂本副委員長, ほか14名。議事: 1) 欧米トンネル研修視察団 共通費の基金について。2) 各小委員会の活動方針について。

(6) 土木図書館運営委員会幹事会(42.9.19)出席者: 森委員長, 綾幹事長ほか2名。議事: 1) 外国図書購入について。2) 複写機について。3) その他。

(7) 第1回表彰委員会(42.9.20)出席者: 富樫委員長, ほか10名。議事: 1) 経過報告。2) 副委員長, 技術賞主査, 功績賞主査の選出。3) 表彰委員会内規について。4) 論文賞選考委員会報告。5) 吉田賞選考委員会報告。6) 田中賞選考委員会報告。7) 土木学会賞募集要項。8) 功績賞募集要項。9) 今後の日程。10) その他。

(8) 鋼鉄道橋示方書委員会打合せ(42.9.22)出席者: 関係者5名。議事: 鋼鉄道橋設計示方書に関する資料のとりまとめ。

(9) 岩盤力学委員会第1分科会(第9回)(42.9.22)出席者: 関係者8名。議事: 1) 経過報告。2) 講演「岩盤斜面の安定計算法」電力中研 色部委員。3) 今後の予定。

(10) 測定(仮称)出版打合せ(42.9.22)出席者: 関係者2名。議事: 1) 経過報告。2) 出版日程・内容等協議。3) 第2回打合せ出席者指名。4) 第2回打合せ提出試案作成。5) その他。

(11) 第111回耐震工学委員会(42.9.22)出席者: 那須委員長, ほか9名。議事: 1) 委員の交代。2) 本州四国耐震設計小委員会について。3) 軟弱地盤耐震設計研究委員会について。4) 第9回地震工学研究発表会について。5) 見学会実施について。6) 論文賞選考委員会委員推せんについて。

(12) 海外連絡委員会幹事会(42.9.22)出席者: 春田幹事長, ほか4名。議事: 1) 海外在住の日本人土木技術者への協力について。2) Civil Eng. in Japanについて。3) その他。

(13) 空港舗装研究委員会 両部会合同幹事会(42.9.25)出席者: 関係者10名。議事: 1) 各部会の分科会報告。2) 本委員会報告の準備について。3) 追加予算の検討。

(14) 海岸工学論文編集小委員会(42.9.26)出席者: 関係者7名。議事: 第14回海岸工学講演会講演集の編集作業について。

(15) 軟弱地盤耐震設計研究委員会 第3回幹事会(42.9.26)出席者: 関係者18名。議事: 1) 経過報告。2) 設計震度について; ①地盤別係数, ②重要度別係数 ③ 地下および地中震度。3) 土圧を受ける構造物の耐震設計試算。

(16) 大学土木教育委員会 第11回幹事会(42.9.28)出席者: 関係者6名。議事: 1) 大学土木教育に関するアンケートについて。2) 大学卒業生の量的需要に関するアンケートについて。

(17) 岩盤力学委員会 第9回運営委員会(42.9.28)出席者: 畑野副委員長, ほか5名。議事: 1) 各分科会経過報告。2) 第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)について。3) 日本学術会議・岩の力学分科会設置について。4) 岩盤サンプル収集について。5) 国際岩盤力学協会について。6) 委員の交代。7) 論文賞選考委員会推せんについて。

(18) 橋梁構造委員会 橋のレポート小委員会(42.9.29)出席者: 関係者3名。議事: 橋のレポートの編集作業を行なった。

(19) コンクリート委員会 工場製品分科会(42.9.29)出席者: 国分委員長, 杉木主査, ほか11名。議事: 鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)の逐条審議。

## ◎その他

(1) 第2回 岩の力学国内シンポジウム(1987)運営委員会幹事会(42.10.2)出席者:関係者3名。議事:運営委員会提出資料のとりまとめと検討。

(2) 第2回 岩の力学国内シンポジウム(1987)運営委員会(42.10.6)出席者:岡本委員長,ほか8名。議事:1)経過報告。2)第2回シンポジウムについて;①プログラムの変更,②司会者の決定,③予算案について,④今後の運営について。

(3) 第14回海岸工学講演会(42.10.19~20)

参加者:約320名

講演数:一般講演50 特別講演1

懇親会(10月19日):参加者90名

見学会(10月21日):参加者75名

## 支部だより

### ◎北海道支部

(1) 第2回見学会(旭川地区・42.9.22)参加者:45名。見学工事:1)旭川市内内国鉄立体交差工事。2)旭川大橋下部工事。3)岩尾内ダム工事。

(2) 第3回見学会(釧路地区・42.10.6)参加者:25名。見学工事:1)釧路港埠頭工事。2)釧路市内都市計画工事。3)厚岸漁港修築工事。

(3) 第4回見学会(札幌地区・42.10.20)参加者:50名。見学工事:1)札幌

市南1条橋架換下部工事。2)千才川筋馬追内水排除工事。3)美笛トンネル工事。

(4) 第3回講演会(新婦朝報告・42.10.24,婦人会館)

聴講者:20名。演題と講師:

1) 欧米の道路事情について

開発局 小野 修

2) 欧米をめぐる

札幌市水道局 伊藤 健二

(5) 第5回幹事会(42.10.30,支部事務局)出席者:伊藤幹事長,ほか9名。議事:1)研究発表会論文募集の進行。2)土木学会誌「土木100年史」原稿作成方法について。3)第4回講演会の開催について。

### ◎関西支部

(1) 40周年記念出版座談会(42.10.23,大阪科学技術センター)出席者:島崎孝彦,高西敬義,高橋末治郎,橋本敬之,原口忠次郎,河村支部長,伊藤幹事長,ほか2名。

(2) 第2回商議員会(42.10.19,好文倶楽部)出席者:関係者32名(委任状を含む)

(3) 第6回幹事会(42.10.19,好文倶楽部)出席者:河村支部長,伊藤幹事長,ほか14名。

(4) 40周年記念行事計画小委員会(第4回)(42.10.19,好文倶楽部)出席者:伊藤幹事長,ほか5名。

(5) 第17回騒音振動委員会(42.10.16,中央電気倶楽部)出席者:庄司委員長,ほか11名。

(6) 騒音振動委員会幹事会(第14回)(42.10.16,中央電気倶楽部)出席者:庄司委員長,畑中幹事長,ほか5名。

### (7) 商議員交替

商議員黒田喜芳氏は埼玉県土木部計画課長に転出のため,後任として京都府土木建築部都市計画課長小谷敏之氏を委嘱した。

### ◎中国四国支部

(1) 第1回映画会(42.10.6)

場所:合同庁舎大会議室

上映映画:①天草架橋1,2部,②由比の地すべり,③東海道新幹線

参加者:250名

(2) 第2回映画会(42.10.12)

場所:島根県庁大講堂

上映映画:①天草架橋1,2部,②由比の地すべり,③東海道新幹線

参加者:200名

### ◎西部支部

(1) 土木100年史編集委員会(42.9.8,福岡市望洋荘)出席者:村上委員長,ほか6名。議事:執筆方針および項目別ページ数打合せ。

(2) 第3回幹事会(42.9.26,西部支部事務局)出席者:沼田幹事長,ほか13名。議事:1)夏季講習会および見学会実施報告。2)巡回映画会開催計画について。4)新材料新工法発表会開催について。5)研究発表会開催について。6)会員増加対策について。その他。

## 編集後記

洛北の高尾の紅葉も散りつくして,床柱に使う北山杉が,その白い肌を,むきだしにして,古めかしいつくりの家の軒先にずらりと立かけられる今日このごろ,北海道から,裏日本一帯は,シベリアから吹き出す強い季節風に見まれて雪が積り,土木工事も一休みの状態です。裏日本の積雪は,交通をしばしば停止させますし,今年の7月,9月の集中豪雨や,西日本の干ばつなどのニュースをきくにつけて,いつも考えさせられることは,大自然に挑戦する人間の余りにも微弱な姿と,地域的な需給のアンバランスを将来,新しい技術で総合的にバランスさせ,災害を解消させることができなかつたということなのです。

今月号は,「'67年の土木界」の特集号となっております。今年は,年度予算計画,事業の実績などを各部門別にまんべんなく集録する従来の方法を変えて,過去1年間に土木の分野においてニュース・バリューの高かったテーマを中心とし,各部門ごとの事業あるいは技術などの動きをとらえるという方法をとりました。この初めて

の試みに協力された担当委員の方々のご努力によって,本年の土木界の問題点が整理され,一段と読みやすくなったと思います。来年は,「1968年の回顧と展望」(仮称)という従来の形式で特集する予定です。

今年1年のできごとの中で,土木屋としてショッキングな事例は,和地ダムにおけるゲートの流失と,新潟県加治川における堤防の2年連続欠壊であります。これらは過去にそれと同じものが何度もつくられて大丈夫だという気のゆるみや,大洪水は2年連続して起こらないだろうと自然を甘くみた態度に,厳しいいましめを与えたものであり,土木屋はこれを他山の石とせず,反省すべきでありましょう。

本号が来年の計画の足がかりとして皆様のお役に立つことを編集委員一同念願しております。年末を海外で過される方々も多数いらっしゃると思いますが,それらの方々を含めて皆様よいお年をお迎えください。

[及川・記]